

# 今夜の酒は旨い！そんな風を感じる瞬間…



四季文化館企画実行委員  
みの〜れデベロップスプロジェクト準備委員  
サーカスプロジェクト  
えんどう まさき  
**遠藤 雅樹** さん

「興味を持ったことを楽しくやっていきたい。自分の経験を活かして」と語る遠藤さん。

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ  
No.132

満開の栗の花の中にすーっと伸びた雌しべの元に小指の爪くらの針山があり、栗のいががついていたり、紫陽花は日影が好きかな花？と思っていたのが実は太陽が大好きな花だった。池花池のヒツジグサも見ごろですね。梅雨の時期も散歩に出かけると楽しい事も見つけられますよ。今回は四季文化館企画実行委員、デベロップスクールTKG部、サーカスプロジェクト準備委員で小美玉市花野井地区にお住いの遠藤雅樹さん取材します。

## 無駄なことは何もない 様々な経験が繋がる

みの〜れとの関わりについて、「写真展を見に来たり、2年前には歌手のオニツカサリーのコンサートを聴いたり、市民コミュニティ学会にたまたま誘われて来てみたり。それから、みの〜れの職員さんと話をするようになって、SNSでも繋がっていきまして。今回、企画実行委員の募集を見て『みの〜れの事は何も知らないのですが、それでも大丈夫ですか？』と職員に尋ねたら、『そういう方の力が必要なんです』という返事があり、企画実行委員を引き受けることにしました」と話してくれました。

筑波山地域ジオパーク推進協議会市民部会・雪入探検隊長を務める遠藤さんは、「筑波山系の一番東側にある山が雪入山です。山登りが好きで雪入山を登っていた時に『この山はそんなにおもしろいかい？』と声をかけられたことがあり、それならもっとおもしろくしようと考え、許可をもらって

けもの道のようなところやハイキングコースを作ってしまいました。さらに、せっかくだから講座もやろうよ！ということになって、様々な講座を実施したりしていく中で、成り行きで隊長になりました。また、子どもたちへの山遊びの伝承として、かすみがうら市内の小学4年生から6年生までを集めて2か月に1度、探検隊ジュニア（隊員は15名）を開催しています。ジオパークは市民との繋がりに重要な役割をしています。ジオパークに関わってからは、大地と自分の生活を考えると、歴史と繋がっていくんですね。それを紐解いていくのが面白い。その歴史を、自分の住んでいる所でミュージカルにできたらおもしろいなと思ったりするんです」と雪入山の話を通じて色々な視点から楽しく話してくれました。

遠藤さんの趣味を聞いてみると、「建設業の仕事が忙しくて趣味をやるような時間もないんです。が・・・ボランティアをやっている、楽しかった！」とか「嬉しかった

た！」とか言われるとやっつけて良かったなと思う。夜の酒が旨いなって思うんですよ」

また、「企画実行委員で何が出来るかって・・・他で学んだことをここでフィードバックしようと思う。興味を持ったことや経験を楽しく転がしてあげたいなと思えます。いくつか活動をしているんだけど、それぞれ根っここの部分は繋がって活かせることが活かそうと思うんですよ。みの〜れって飽きないところだね。いつも何かやっっているし。最近ではデベロップスクールのTKG部にも関わっていて、卵かけご飯にはまっています。この前は乳製品をテーマに、ヨーグルトにニンニクやパセリなどを加えてサウザンドレッシングみたいな感じに作ってご飯にかけてみたけど、なかなかいけましたよ！サラダの方が合うなってなりましたけど(笑)」と楽しそうに話す遠藤さんの活躍が楽しみです。わくわく感が伝わってきました。